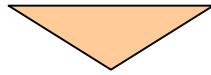


5.4 目標の設定

上位計画等を踏まえ、基本的な方針のもと、以下のように目標を設定した。

目標像：「快適な日常生活が送られるまち 阿賀野市」の実現



目標 1 高齢者や学生など誰もが利用しやすい公共交通の構築

高齢者、学生、観光客など誰もが、容易かつ快適に利用できる、利便性の高い生活交通手段を構築する。

目標 2 市街地整備などに合わせた公共交通を運行することによるまちの活性化

宅地開発や都市施設整備などの市街地整備に合わせた利便性の高い公共交通を運行することにより、市内の交流を活発にしてまちの活性化に寄与する。

目標 3 市内外の交流促進に結びつく交通体系の整備

阿賀野市と周辺市町を結ぶ公共交通を強化し、観光客など市外からの利用者にとって利便性の高い公共交通を提供して、市外との交流を促進する。

目標 4 公共交通の利用促進や環境にやさしい燃料への転換による環境負荷の軽減

自動車と公共交通の適切な役割分担を図り、良質な公共交通サービスを提供することにより、マイカー利用から公共交通利用への転換を促進し、環境負荷の軽減を図る。また、公共交通の使用燃料についても、環境に配慮する。

阿賀野市の公共交通網の目標イメージ

幹線

- 新潟～水原～安田を結ぶ路線バス
- 新潟～安田 I C～五泉方面を結ぶ高速バス
- 新津～水原～新発田を結ぶ羽越本線

【幹線の役割】

方面	主な役割
新潟市	新幹線との接続(新潟駅) 通勤、通学路線の確保(中央区、江南区、秋葉区等) 高次医療施設への通院路線の確保(中央区内の主要病院) 商業地へのアクセス確保(新潟駅周辺、万代、古町など)
新発田市 五泉市	通学路線の確保(新発田市内、五泉市内等の高等学校) 高次医療施設への通院路線の確保(新発田市内、五泉市内の主要病院) 商業地へのアクセス確保(新発田市内、五泉市内)

【整備の方向】(「新潟～水原」間のバスへの接続に関して)

- 阿賀野市内外を結ぶ国道 49 号を活用し、水原地区など市内主要地を経由する幹線バスの運行を行う。
- バス交通網の基軸となる「新潟～水原」間のバスに対し、接続するバスを戦略的に整備する。
- ・円滑性の向上を図り、マイカー利用に対する所要時間の優位性を確保する。
 - ・「水原～安田～石間(阿賀町)」間の路線の接続時間、待ち時間を短縮し、連携を図る。
 - ・潜在的ニーズに応じた新たな路線を検討し、新規利用者の拡大を図る。

支線

阿賀野市の各地から幹線バスに接続する支線バス網の再構築

【支線バスの役割】

幹線バス、鉄道への接続
阿賀野市内の通勤、通学、通院路線の確保
阿賀野市の中心市街地(水原地区商店街等)や公共施設、その他集客施設へのアクセスなど、市民の生活活動の支援

【整備の方向】

収支を勘案しながら、既存路線の運行ルートなどの見直しを行う。
高齢者の生活様式や学生の通学に合わせて、運行便数や運行時間を設定する。

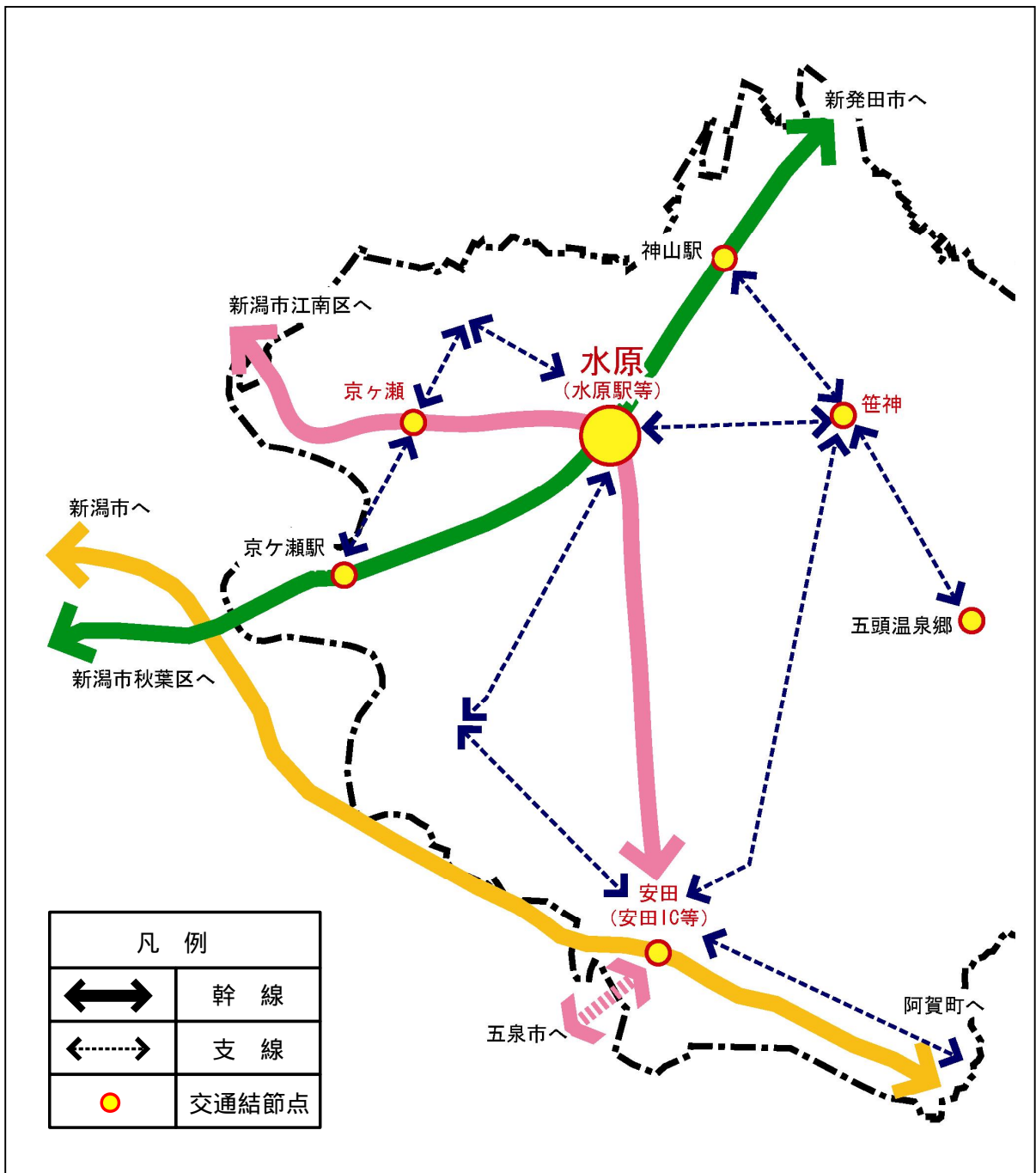


図 阿賀野市の公共交通網の目標イメージ

また、水原地区に着目すると、「幹線」「支線」以外に地区内(水原駅 瓢湖)を結ぶ路線を整備する。

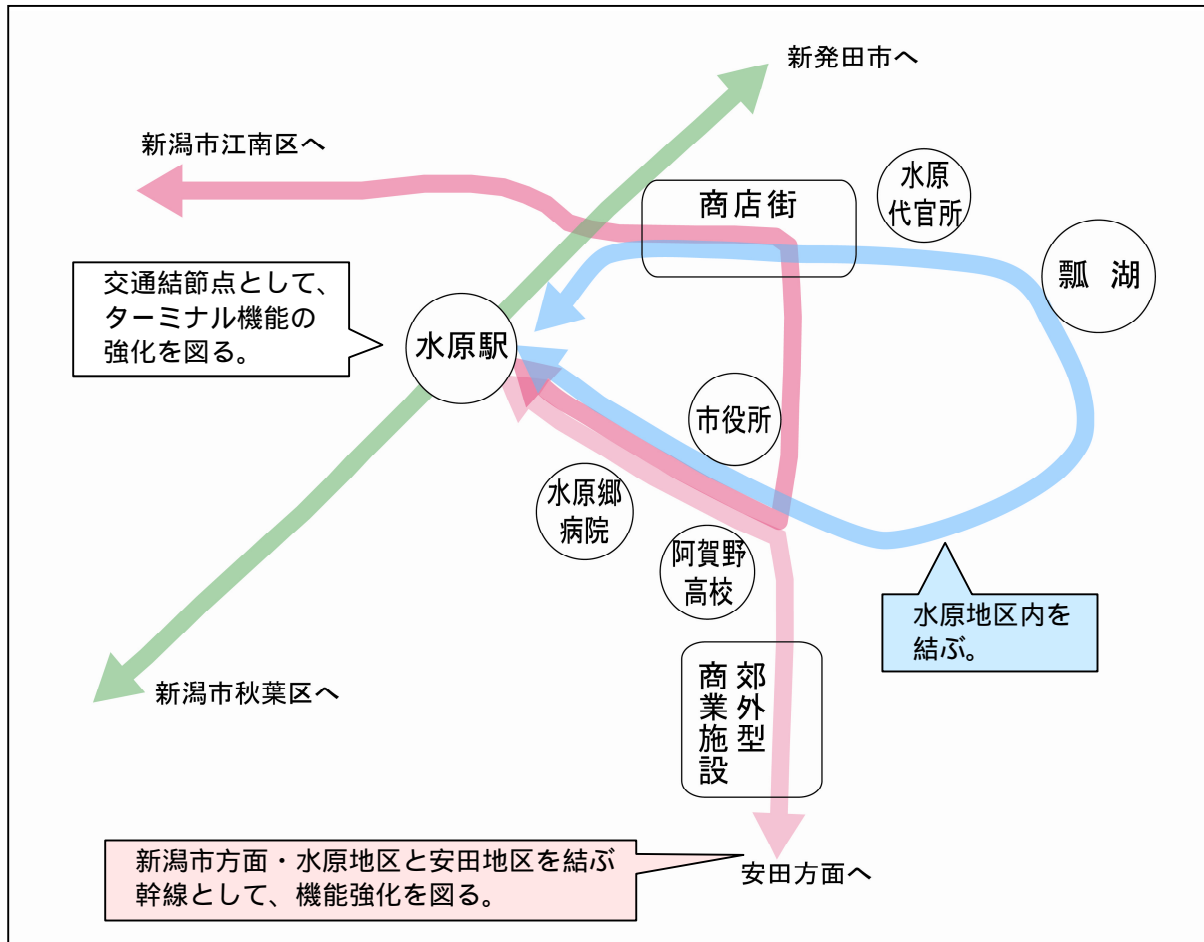


図 水原地区の公共交通網の目標イメージ